

## 平成26年度全国学力・学習状況調査における調査活用委員会の報告

本年度は、昨年度に続き悉皆調査が行われ、新城市では、小学校16校（小学校6年生対象）、中学校6校（中学校3年生対象）が調査を実施しました。

そこで、昨年度の調査結果と本年度の調査結果とを比較し、調査活用委員会で分析・検証を行いました。

平成25年度と平成26年度の学力・学習状況調査の結果を比較し、今後の学習指導の取り組みについて、新城教育として次のような授業改善を行っていききたいと思います。

### 国語

- 基礎基本の定着
  - ・授業の中で5分間程度の帯学習時間を設け、音読・暗誦・漢字ドリル学習等の場とする。
  - ・言葉に関心を持ち、多様な語彙を習得するために国語辞典を活用する。
- 活用する力の向上
  - ・文学的文章では「主題や作者の思い」、説明的文章では「キーワード」に着目させ、感想文や要約文を書く場面を増やす。
  - ・行事や各教科の単元のまとめとして、800字程度の作文に成果や自己の思いをまとめさせる。
- 学習意欲の喚起
  - ・授業前には「本時のめあて」を示し、授業後には自己の学習成果を「振り返り」として記録させる。
  - ・読書の幅を広げて知的好奇心を喚起するために、教師が意図的に優れた作品を提示したり、児童生徒相互で本を紹介したりする機会を設ける。

### 算数・数学

算数・数学的な活動を通じた算数・数学の学習活動を展開する。

- 基礎・基本の定着
  - ・具体的実感を持たせ、基礎的な概念を確実に理解させる。
  - ・既習事項から現在の学習内容に結びつける学習活動を行う。
  - ・反復練習方法を工夫し、基本的な表現・処理の方法を意欲的に習得させる。
- 活用する力の向上
  - ・互いの意見や考えを伝え合うことで、思考力・判断力・表現力を養う。
  - ・日常生活や自然現象と結びつけた学習活動を行い、算数・数学のよさを実感させる。
- 学習意欲の喚起
  - ・チームティーチングや課題学習など、個に応じた学習形態や学習課題を設定する。

### 生活(家庭学習)

- 家庭での過ごし方の自立
  - ・規則正しい生活の中に、家庭学習の時間を必ず位置付ける。
  - ・授業に沿った家庭学習の内容と方法を示し、目的意識をもった予習復習を進めさせる。  
(小学校)
  - ・自ら学習内容と方法を計画し取り組めるよう、学習内容と方法を検討する。  
(中学校)

<資料>平成26年度小学校6年生と中学校3年生の結果からの状況

(1) 平成26年度全国学力・学習状況調査結果概況

	平均正答率 (%)			
	小学校6年生		中学校3年生	
国語A (主として知識)	全 国 新城市	72.9 同程度	全 国 新城市	79.4 同程度
国語B (主として活用)	全 国 新城市	55.5 やや下回る	全 国 新城市	51.0 同程度
算数・数学A (主として知識)	全 国 新城市	78.1 やや下回る	全 国 新城市	67.4 同程度
算数・数学 (主として活用)	全 国 新城市	58.2 やや下回る	全 国 新城市	59.8 同程度

(2) 平成26年度学習状況調査の傾向

児童・生徒への質問	児童の回答の状況	生徒の回答の状況
今住んでいる地域の行事に参加していますか	全国と比べて、児童・生徒ともに、参加している割合が大いに上回る。	
家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか	全国と比べて、「よく来る」と答えた割合が大きい。	全国では、「よく来る」と答えた割合が小学校と比べてかなり低くなるが、新城では、若干低くなる程度。
朝食を毎日食べていますか	「食べている」「ほぼ食べている」と答えた児童・生徒が全体のほとんどを占めている。	
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	「起きている」「ほぼ起きている」と答えた児童・生徒が全体のほとんどを占めている。	
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	「寝ている」「ほぼ寝ている」と答えた児童・生徒の割合は、全国と比べるとほぼ同程度。しかし、同じくらいの時刻に起きている割合に比べると、かなり少ない。	
学校の授業の予習・復習をしていますか	全国と比べ、児童・生徒ともに家庭での予習・復習の時間が少ない。ただし、児童に比べ、生徒の方は全国との差は小さい。	
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	全国と比べ、児童・生徒ともに「立てている」「ほぼ立てている」と答えた割合は少ない。ただし、児童に比べ、生徒の方は全国との差は小さい。	

これまでの全国学力・学習状況(質問紙)調査の結果同様、新城の三宝を活用して、自然や地域とのふれあいを多くもち、地域の行事などにも積極的に参加する児童生徒の姿が本年度も表れています。また、家庭学習にかかる時間が比較的少ないことが本年度も課題となりました。新城の児童生徒のよい面を伸ばしながら、さらに学力の向上を図りたいと考えています。